



「願い」実現へ 全力投球!

決意新たに

日本共産党羽曳野市議員団は、ブレずにスジを通し、国や府の悪政から住民の利益を守る防波堤として頑張る決意を新たにしています。また昨年の総選挙で示された日本共産党への期待を胸に、より良い市政めざし「対案」を示し、住民のみなさんとの「共同」をさらに発展させ、願い実現にがんばります。



日本共産党羽曳野市議員団。左から若林、ひろせ、ささい、嶋田の各議員

みなさんとともに
さらなる飛躍をめざして

日本共産党
羽曳野市会議員団

意見書

党議員団が提出した意見書

- 政治資金疑惑の徹底究明を求める意見書
- 消費税10%への増税中止を求める意見書
- 川内原発再稼働の中止を求める意見書
- 全会一致で採択された意見書
- 福祉労働者の処遇改善・人材確保に関する意見書

日本共産党議員団は右記の3本の意見書案を提出しましたが「政権与党の進められている政策に反対はできない」等の理由で、他会派の反対で否決されました。住民のいのち・くらしに関する重要な問題を、反対の根拠もあいまいなまま否決する与党の姿勢が問われます。

政務活動費

議会改革特別委員会で議論

昨年は、地方議会における政務活動費が大きく取りざたされました。とりわけ使いかたが適正なのかということが問題となっています。

市民からも「羽曳野市は問題ないのか」との声が寄せられました。市議会では、市民に開かれた議会をめざし、

議会改革に取り組んでいますが、さらに、議会改革特別委員会で2015年度から、市民の理解と納得を何よりも大切にするという基本姿勢で議論していきます。